



## チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第1号 2022年7月発行



### 親愛なる会長のみなさん

こんにちは。待ちに待った私たちのロータリーの新年度がスタートします。みなさんと共に2022年7月を迎えられたことに、心より感謝申し上げます。これからの一年、共に力を合わせ、汗をかきながら、「奉仕の理念」(Ideal of Service)を携えて元気に歩みたいと思っています。よろしくお願ひします。

本年度のガバナー月信は、会長のみなさんをターゲットとして、会長のみなさんが「元気なクラブづくり」のために行う「会長スピーチ」(会長の時間)のヒント・アイデアになるような事柄をお伝えしていきます。

### 1. IMAGINE ROTARY

2022-23年度、ジェニファー・EジョーンズRI会長のテーマは「IMAGINE ROTARY」です。彼女は、「私たちには皆、夢があります。しかし、そのために行動するかどうかを決めるのは私たちです」とし、ロータリーのような団体がポリオの根絶や平和の実現といった大きな夢を抱くなら、「それを実現させる責任は自分たちにある」と語りました。私たちロータリアン・ローターアクターに、大きな夢を叶えたロータリーを想像(IMAGINE)して行動し、その実現のためにロータリーの力とつながりを活かすように呼びかけています。そして、会員の積極的な参加こそが会員の維持に重要であり、会員の参加を促すための適切な「部品」を見付けること、「会員にとっての心地良さと配慮」が大切だと指摘されています。



## 2. ガバナー信条

「Take Action for Rotary Future ロータリーの未来のために行動しよう」

「Reach Out for World Peace 世界の平和のために手を差しのべよう」

私はこのガバナー信条を昨年初めに決めました。その間も、世界中に新型コロナウイルス感染症が拡大し、例会の休止や奉仕活動の停滞を余儀なくされてきました。チーム嶋村の骨格作りにも一部支障が出ました。Zoomなどのオンラインでの会議を開催するアプリケーションが普及し、チーム嶋村のみなさんの協力の下、チーム形成を進めることができました。私たちはいつも未来志向でした。ガバナー信条の中にもある「Rotary Future」（ロータリーの未来）のことをいつも考えて仲間とアイデアを出し合い、話し合ってきました。そして、今年1月25日に発表されたジェニファー・E・ジョーンズの会長エレクトのテーマ「IMAGINE ROTARY」を聞いた時、思い続けた「Rotary Future」が確信に変わった瞬間となりました。チーム嶋村は、「IMAGINE ROTARY」とガバナー信条に基づき、「Rotary Future」を見据えた参加型の奉仕活動のサポートを展開していきます。

本年2月24日、ロシアのウクライナへの軍事侵攻が始まり、悲惨な戦況が連日報道されています。もう一つのガバナー信条である「Reach Out for World Peace」に基づき、ロータリーの特徴である世界とのつながりを意識しながら、私たちに何ができるかを、クラブで考え、話し合っていて欲しいと願っています。そのために、会長のみなさんのリーダーシップにより、今こそクラブコミュニケーションをアップさせる必要性を感じています。

## 3. 地区運営方針

(1) ロータリーの「奉仕の理念」(Ideal of Service)が確立された歴史を再認識し、ロータリーの未来への可能性に挑戦しましょう

ロータリーの目的を理解し、奉仕の理念を携えて、ロータリアンとしての実践・行動につなげていきましょう。

ロータリーの目的：

意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

奉仕の理念：

何処においてもロータリークラブにも、一つの基本となる理念を大切にしている、それは他人を思いやり、そして他人のために尽くすことである（チェスリー・ペリーによる定義）

(2) 未来を託す青少年奉仕活動の新しいクロスプロモーション事業をローターアクターと共に展開しましょう

次世代ロータリーとの積極的な交流を推進します。2019年より、RIの構成員となったローターアクトクラブは、私たちの素晴らしいパートナーであり、私たちの未来でもあります。お互いに知り合う機会を作ります。直近では、「ガバナー・ローターアクト交流会」を開催します。ローターアクトクラブのスポンサークラブを提唱していないロータリークラブの会員にも参加を推奨し、ローターアクターとの対話・交流を推進します。日程は開催順に、北分区：7月24日（日）、沖縄分区：7月30日（土）、中央分区：8月21日（日）、東分区：8月28日（日）を予定しています。武蔵野分区

と多摩分区はオープン参加になります。

- (3) 「ロータリーは人を育て向上させる場」の認識を高め、会員基盤の向上を図り、会員増強に結びましょう

改めてロータリーの「奉仕の理念」を学び、行動することで自らの人間的な成長に繋がることを体感し、ロータリアンとしての矜持を大切にしたいと思えます。参加型の社会奉仕活動をご理解いただくために、今月号の付録に「元気なクラブづくりのための鼎談：会員の参加を促し、奉仕の充足感につなげる ～行動する公共イメージと参加型の社会奉仕活動～」があります。

ロータリーを学ぶ機会も提供します。①クラブからの要望の多い新入会員研修を「ハローROTARY」と銘打って、10月からZoom形式で3回にわたって実施します。②当地区で開始して5年目となるRLIは受講者をクラブの幹事と幹事エレクトに絞り、集中型で、来年1月からインパーソンで実施します。③4月からはロータリーが好きになるTLR (Training to Love Rotary) をZoom形式で実施し、クラブを越えてロータリーを語り合う機会も提供します。

- (4) 「世界を変える行動人」として、海外との交流を通じて、国際理解と善意を育み世界の平和を希求する

10月23日・24日の「世界ポリオデー2580」の一環として、ロータリーファミリーと共に街頭募金活動をするためのサポートをします。「ポリオの根絶は世界平和の道標」、ポリオ根絶活動を通じて、クラブの活性化を目指しましょう。「世界ポリオデー2580」をご理解いただくために、今月号の付録に「元気なクラブづくりのための鼎談：会員の参加を促し、奉仕の充足感につなげる ～行動する公共イメージと参加型の社会奉仕活動～」があります。

- (5) DEI「Diversity (多様性)・Equity (公平さ)・Inclusion (インクルージョン) をクラブ・地区に浸透させましょう

すべての言動をDEIの原則に基づき行いましょう。すべての人の尊厳を守り、すべての人と尊重をもって接し、すべて人の声に耳を傾けられようとするとともに、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注ぎましょう。

#### 4. ガバナー公式訪問フォーラムについて

「ガバナー公式訪問フォーラム」は「元気なクラブづくり」のために行うガバナーと会員のみなさんとの対話です。想定される成果はクラブコミュニケーションのアップです（ガバナーエレクトメッセージ2022年3月号参考）。新型コロナのために、クラブの奉仕活動と同様にクラブの親睦活動も十分とはいえませんが、会長のみなさんには、会員のみなさんと対話をする機会の提供をお願いしています。たとえば、会長のみなさんのクラブを担当するガバナー補佐が関わる「クラブ協議会」で「ガバナー公式訪問フォーラム」のテーマについてお話しをされてみてはいかがでしょうか？ また、クラブの課題やビジョンなどをテーマにしてみてもいかがでしょうか？（クラブビジョン・クラブ行動計画策定のきっかけになるかもしれません） 会員のみなさんのロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）をテーマにしてはい

かがでしょうか？ 会長のみなさんの「会長スピーチ」（会長の時間）をもとにしたテーマはいかがでしょうか？ 「ガバナー公式訪問フォーラム」で、ロータリアン同志の思いやりに溢れた対話ができることを期待しています。

### 私のロータリーモーメント（心に残るロータリー体験）①：「奉仕の心に火がついた」

入会1年3か月の時、東京東江戸川RCの提唱する東京東江戸川ローターアクトクラブの会員は一人だけでした。その一人と東京東江戸川RCの会員は共に「環状七号線清掃活動」を実施しました。当時84歳だった大先輩のローターアクト委員長が率先してゴミ拾いをする姿に、そしてその時、大先輩からいただいた「たった一つの種（一人のローターアクター）になっても水を注ぎましょう、いつか芽が出て、花が咲きますように」の言葉に感激しました。私の奉仕の心に火がついた瞬間でした。忘れられない最初のロータリーモーメントです。



2022年7月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ [info@motoffice.jp](mailto:info@motoffice.jp)

チーム嶋村ガバナー月信編集委員会より：

「沖縄分区インターアクトクラブによる慰霊の日クリーン活動」

執筆：チーム嶋村ガバナー月信編集委員 儀部頼人



6月18日(土)、10:00から13:00まで、宜野湾市にある嘉数高台公園にて「慰霊の日クリーン活動」が行われました。30年以上前から、6月23日の沖縄県の慰霊の日に合わせて、その日の前後に行われています。コロナのために2年ぶりとなりました。嘉数高台は沖縄戦の激戦地でした。高台の下には普天間基地があります。



興南高校インターアクトクラブ、昭和薬科大学付属高校インターアクトクラブ、那覇高校インターアクトクラブのインターアクターのほか、首里高校ボランティア部のメンバー、さらにスポンサークラブのロータリアンなど総勢50名以上が共に汗をかきました。当日の流れは、全体説明の後、クリーン活動、慰霊のお祈り、平和学習となっていました。

執筆者からコメントです。

「私がインターアクターだった時代から毎年参加している本活動ですが、コロナで2年間休止となりました。必ず復活すること、また、絶やしては行けないという気持ちでコロナの2年間は私1人で活動を行いました。今年復活できたことがとても嬉しく、また元気なインターアクターの姿を見ることができ、喜びを感じました」

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

6回	戸塚 誠一郎(東京江北)	
3回	麻生 利勝(東京西北) 小船井 良夫(東京西北) 佐藤 徹(東京江北) 小林 光夫(東京江北) 畠山 信弘(東京江北) 影山 幸一郎(東京江北)	大竹 美喜(東京西北) 島田 和明(東京西北) 守屋 裕之(東京江北) 芝 久雄(東京江北) 張替 俊光(東京江北)
2回	高橋 徹(東京西北) 浅野 真(東京西北) 飯田 修一(東京西北) 海老沼 孝二(東京江北) 渡邊 浩(東京江北)	吉野 賢治(東京西北) 原田 正彦(東京西北) 吉田 正行(東京江北) 今井 太郎(東京江北)
1回	岡 英孝(東京西北) 羅山 能弘(東京江北) 人見 真吾(東京江北) 鈴木 又右衛門(東京江北)	原田 寛(東京江北) 中山 高德(東京江北) 高橋 史郎(東京江北) 松井 元(東京江北)

ポール・ハリス・フェロー

	渡辺 修三(東京西北) 小出 康夫(東京江北) 細沼 謙久(東京江北) 高梨 秀典(東京江北) 川村 恵三(東京江北)	中島 久彰(東京西北) 船木 佳昭(東京江北) 岩崎 和浩(東京江北) 成田 義孝(東京江北)
--	---	--

米山功労者・メジャードナー

23回	清水 卓治(東京本郷)
-----	-------------

米山功労者・マルチプル

3回	松下 和正(東京本郷)
----	-------------

米山功労者

	小西 武志(東京) 関口 豊一(東京田無)	新井 浅浩(東京田無)
--	--------------------------	-------------

5月31日分まで 敬称略、順不同

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナー月信編集委員会 ガバナー月信へのお問い合わせ／コメント： info@motoffice.jp
--

## チーム嶋村「元気なクラブづくりのための鼎談」第2回： 「会員の参加を促し、奉仕の充足感につなげる ～行動する公共イメージと参加型の社会奉仕活動～」

嶋村文男ガバナーと、「行動する公共イメージ」を担当する地区公共イメージ部門の新城恵子部門長と「参加型の社会奉仕活動」を担当する地区社会奉仕部門の相澤愛部門長とで鼎談を行いました。

今回の鼎談はチーム嶋村のガバナー信条の一つ、Take Action for Rotary Future に沿ったものになります。いかに会員に奉仕活動へ参加していただくか、参加を促すかについて、会長のみなさんへのヒント・アイデアをご提供しています。会員の奉仕活動への参加は、奉仕への充足感となり、元気なクラブづくり、そして、会員維持につながります。ジェニファー・ジョーンズ RI 会長も参加型の奉仕による奉仕の充足感を重要視しています。この充足感が、会員の維持、増強につながるとしています。

地区公共イメージ部門の新城恵子部門長からは「行動する公共イメージ」の意義についてでした。その具体例として挙げたのは、「世界ポリオデー2580」です。募金活動を行い、単にお金を集めることなく、そこに至るクラブ内のプロセスが大切とします。「ポリオ根絶の取組み、そして、全世界のロータリアンが希求していることを理解いただくことが何より大切です。その理解の後に街頭募金へつなげて、私たちの取組みを「社会へ伝える」ことをしていただきたいです」とします（編集部注：これが「行動する公共イメージ」です）。また、「社会一般のみなさんはポリオのことをあまり知りません。街頭募金を行ったことのある方に伺うと、募金額は少なく、スルーされることもあるとのことでした。社会一般にどう受け入れられるかを考える必要があります」との問題意識も上記プロセスの大切さにつながります。

地区社会奉仕部門の相澤愛部門長からは「参加型の社会奉仕活動」の意義についてでした（編集者注：「参加型の社会奉仕活動」とは、地域貢献として会員参加の贈呈式もなく寄附・寄贈などを行う「寄附型」に対して、地域の子どものためのコンサートの運営や地域のお祭りに参加して寄附付きの物品販売などを行うことです（2020-2021 年度地区社会奉仕委員会の定義より）。会員の社会奉仕活動への参加は、奉仕への充足感につながるとします。さらに、地域の課題・ニーズなどの情報を収集するために、市区役所や社会福祉協議会、ボランティアなど社会地域の団体とのつながりを丁寧につくることが大切とします。このために、「地区社会奉仕部門は、参加型の社会奉仕活動のための仕組みづくりを構築し各クラブをサポート」するとします。ただし、情報を集めるのは難しい面もあるとして、そのために「他クラブの参加型の社会奉仕活動への参加」についても地区社会奉仕部門はサポートするとします。そして、「他クラブの社会奉仕活動に参加すれば、2倍、3倍の奉仕の実感を得られるのではないのでしょうか？ クラブを越えた仲間も増えていき、新たな親睦に、ロータリアンの成長に、喜びにつながるのではないのでしょうか？ また、この奉仕の実感をクラブに持ち帰り、例会で共有し、自クラブのより良い奉仕活動につなげていけばクラブの活性化につながるのではないのでしょうか？」と提案します。

このほか、新城恵子部門長、相澤愛部門長の所属クラブにおける取組みや、ポリオ根絶活動からロータリー衛星クラブへの立上げに向けての試み、Rotary Future のための若い世代や女性の入会などについてのお話もありました。

※ YouTube からご覧いただくこともできます（53分42秒）。下記 URL をクリック。

<https://youtu.be/fFzJquIcUaM>

目次：

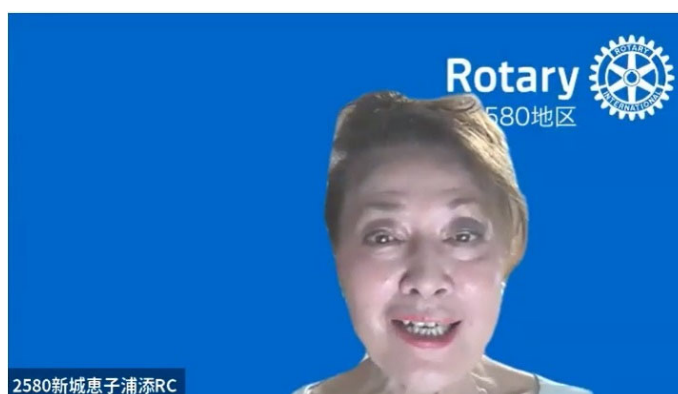
1. 自己紹介とロータリーモーメント
2. 「行動する公共イメージ」と「参加型の奉仕活動」について
3. アンテナを拡げて、奉仕のチャンスを得る
4. 新しい仲間たちとつながる
5. まとめ

## 1. 自己紹介とロータリーモーメント

嶋村（敬称略。以下同じ）：今回の鼎談は、私がいへん期待をしているお二人から、会長のみなさんの参考になるようなお話しをしていただきます。お話しの内容は、チーム嶋村のガバナー信条の一つ、Take Action for Rotary Future に沿ったものになります。いかに会員に奉仕活動へ参加していただくか、参加を促すかについて、会長のみなさんのヒントになればと考えています。まずは、地区公共イメージ部門長の新城さんから自己紹介とロータリーモーメントをお願いします。



新城：浦添 RC に入会して 10 年超になります。ロータリーモーメントは 2 年半前、ガバナー補佐の指名を受けてからです。浦添 RC は例会と親睦が中心でした。社会奉仕活動は毎年決まったことを行い、事業計画を毎年度焼き増している状況でした。地元の社会福祉協議会とのつながりもありませんでした。2019-2020 年度の地区社会奉仕委員会で社会福祉協議会へのアンケートをまとめ、公表されたことがきっかけとなり、



卓話や社会福祉協議会訪問で相互交流が始まりました。今では地元の社会福祉協議会とのつながりがあります。地域のニーズを知り、何をどのように行動するかで、クラブは変わります。さらにガバナー補佐に指名されて、東京北部、沖縄分区のいろいろなクラブのお話しを聴く機会が増えました。ロータリーモーメントはこの時の会長、幹事とのお付き合いの中から初めて得ました。ロータリークラブには可能性がいっぱいあること、世界で活躍していることを知りました。その経験があって初めて My Rotary には貴重な情報がいっぱい・・・と目が開かれました。これが今の土台となっています。

嶋村：続いて、地区社会奉仕部門長の相澤さんから会長（2021-22 年度）になった思いも含めてお願いします。



相澤：東京練馬西 RC に入会して 9 年になります。ロータリーモーメントは 2 つあります。一つは、入会してすぐに 4 つのテストに出会えたことです。職業柄もちろん心掛けていたことではありましたが、それまではぼんやりとしていたことが的確にまとめてあり、ビビッと来ました。もう一つは、当地区の RYLA の立上げにかかわったことです。地区委員として 3 年間かわりました。若者が 2 泊 3 日の合宿の中で成長するのを見ることができました。Take Action することが変わっていくきっかけとなることを実感しました。会長を引き受ける頃は、例会、親睦ともにコロナによる休会で難しく、ロータリアンであることを忘れてしまいそうな時期でした。そこで、基本に戻ろうと考えました。例会を充実させ、奉仕活動をしっかり行うことにしました。なんとか、1 年を乗り越えることができました。困った時は基本に戻るべきです。会員から楽しかったという感想を多くいただきました。クラブに活気が戻りました。会長として目標を立てて、がんばって良かったです。



## 2. 「行動する公共イメージ」と「参加型の奉仕活動」について

嶋村：相澤さんの会長就任初例会にメーキャップさせていただきました。会長の時間（会長あいさつ）をしっかりされていたのが印象に残っています。新型コロナの発生から 2 年半ぐらいが経ちました。Zoom の活用やハイブリッド例会の開催などが行われるようになっていきます。インパーソンにはまだまだ制約があります。会長のみなさんにご苦勞されることになると思いますが、チーム嶋村では行動してほしいです。Take Action for Rotary Future は未来志向の行動を促しています。行動にこそ、ロータリーの可能性があると考えています。ジュニファー・ジョーンズ RI 会長も提唱されています。ここからは、新城さんから「行動する公共イメージ」、相澤さんから「参加型の奉仕活動」について具体的にお話しいただきたいです。

新城：行動する公共イメージはロータリーの未来のために行います。地区公共イメージ部門は、世界ポリオデー2580、アースデー2580 “ぶっく・デ・アース”を準備しています。ポリオはゼロに近付いてきています。しかし、ポリオ根絶活動の理解をさらに進める必要を感じています。地区公共イメージ部門は各クラブにポリオ根絶のための募金箱をプレゼントします。年度初めの 7 月 1 日から世界ポリオデーのある 10 月 24 日まで、各クラブにはポリオ根絶活動の意義、今までの成果、パートナーなどの理解を深めていただきたいです。そのために、地区公共イメージ部門は資料（パワーポイント形式）をまとめました。この資料をクラブで活用いただきたいです。ポリオ根絶活動は募金だけではありません。ポリオ根絶の取組み、そして、全世界のロータリアンが希求していることを理解いただくことが何より大切です。その理解の後に街頭募金へつなげて、私たちの取組みを「社会へ伝える」ことをしていただきたいです（これが「行動する公共イメージ」です）。地区公共イメージ部門は全クラブにご参加いただくために準備を進め

ています。世界ポリオデーの前日である10月23日に全クラブ参加の一斉街頭募金を行い、翌日の24日に東武ホテルレバント東京にて活動報告会を開催する予定です。その後は、アースデー2580“ぶっく・デ・アース”です。こちらは古本を回収、換金し、それを財源として植樹を行うというものです。ロータリークラブとして環境問題に寄与することが目的です。アースデー2580“ぶっく・デ・アース”のワークショップは12月3日に開催します。クラブで環境保全のアイデアを出し合ってほしいです。たとえば、次年度の国際大会はメルボルンで開催されます。メルボルンにはたくさん的高層ビルがありますが、ミツバチの巣箱や草花を置き、環境問題に寄与しています。クラブの中には環境指標生物と言われているミツバチのために植樹や草花を植えることを検討しているところもあるようです。

嶋村：私はポリオ根絶活動で、インドに4回訪問したことがあり、ポリオ根絶への思いが強いです。ポリオ根絶は単にお金を集めることではなく、この思いを伝えることが大切と考えています。ロータリーはポリオに感染した子どもたちに根絶を約束したことがあります。この約束を守りたいです。

相澤：地区社会奉仕部門は、参加型の社会奉仕活動のための仕組みづくりを構築し各クラブをサポートします。奉仕活動はクラブが主体ですが、当地区で奉仕の実践として、年度ごと数十の活動が行われていると想定しています。ロータリーの友などアーカイブとして他のクラブの社会奉仕活動を知ることができます。これでもヒント・アイデアを得ることができます。他のクラブの社会奉仕活動に参加できれば、さらにヒント・アイデアを得ることができるのではないのでしょうか？ 自クラブのより良い社会奉仕活動のためになります。現在、地区社会奉仕部門は本年度の社会奉仕活動について各クラブにアンケートのお願いをしています。地区社会奉仕部門でアンケートをまとめて、各クラブに都度情報発信をしていく予定です。互いに社会奉仕活動に参加できるようにしたいです。また、地区環境委員会は、7月31日、9月25日、環境保全クリーン活動日の準備を進めています。たとえば、清掃活動などです。参加型の社会奉仕活動として企画しやすいと考えています。

### 3. アンテナを拡げて、奉仕のチャンスを得る

嶋村：他のクラブ、他の地区からの情報を得て、参加型の社会奉仕活動を行うことをお勧めします。先ほどのポリオ根絶活動でインドへ訪問したのも、青森の地区から情報をいただいたことがきっかけです。また、東京臨海東 RC の葛西臨海公園での環境保全活動に参加したことがあります。海岸に竹を刺して、カキを育て、浄水するというものです。このことは交流から知ることができました。アンテナを拡げて、奉仕のチャンスを得てほしいです。

新城：ガバナー補佐の時、地域への公共イメージ向上の意味も込めて、クラブに献血、ビーチクリーン、オープン例会を行うことを提案しました。リアクションはびっくりするものでした。「強制ですか？」と言われました。クラブはクラブ、地区は地区という感じで、クラブと地区の距離を感じました。クラブの活性化のサポートをしたいという地区の考えがクラブに伝わっていないのです。ガバナー補佐の最初の頃は惨憺たるものでした。しかし、およそ1年後、ガバナー補佐の最後の頃は異なりました。献血を実践したクラブの報告がラインや動画で共有されたことが功を奏し、実践するクラブが増えていきました。

奉仕活動の実践の情報は学習効果が高いです。奉仕活動は学びやすいこと、実践しやすいことが大切です。今までにない奉仕活動を進めることができました。沖縄分区内でも、実践したクラブがけっこうな数になりました。その経緯があり、その年度の沖縄分区 IM では各クラブの奉仕活動発表大会を行うことができました。結果的に、多くのロータリアンが喜んでくれました。前向きに行動することが大切であることに気付きました。このことも、私のロータリーモーメントです。また、2022年5月に開催された地区大会のフォトコンテストでは、那覇東 RC と那覇北 RC がビーチクリーンでダブル受賞をしました。奉仕活動をした後の爽快感が写されていました。

嶋村：ジェニファー・ジョーンズ RI 会長も奉仕の充足感を重要視しています。この充足感が、会員の維持、増強につながります。

相澤：会長エレクトの時、自身の会長年度に社会奉仕活動として何を行うかを探していました。当時の地区社会奉仕委員会からのヒントがあり、地元の社会福祉協議会、区役所へヒアリングを行いました。すぐに社会奉仕活動にならなくても、まずは卓話をお願いしました。これが後々につながります。たとえば、四肢不自由者の通学支援を行っている地域の大学生の団体とつながることができました。また、練馬区にある石神井公園でコロナ禍の中で森林浴体験会を行い、地元の森林セラピー団体とつながることができました。丁寧に対応しているとつながりは広がります。ロータリークラブだけではできない新しい奉仕活動もできます。社会福祉協議会など特定の団体と仲良くなり過ぎないようにという意見もあります。ただ、そういう団体とのつながりがあれば、情報が集まります。情報を集めれば、奉仕活動の種を見付け、奉仕活動を行うことができます。ここにロータリアンとしての腕の見せ所があるのでしょうか。0 からすぐに 100 のことをするのは大変です。ご縁を丁寧につないで情報収集のやりとりを行うことはクラブのプラスになると思います。

嶋村：会長として、地域の社会奉仕活動のプレーヤーを呼ぶことをクラブのみなさんはどうでしたか？

相澤：例会の充実につながりました。社会奉仕活動の現場のお話しに対して、会員から「面白かった」という感想をいただきました。

嶋村：社会奉仕活動は草の根的であることが大切ですね。さて、地区としてクラブやロータリアンが主体であると伝えていますが、情報を集めるのはなかなか難しいのではないのでしょうか？

相澤：はい。情報を集めるのは難しい面があると思います。そのために、「他クラブの参加型の社会奉仕活動への参加」についても地区社会奉仕部門はサポートしていきます。とはいえ、どう伝えるかが難しいです。地区が薦めているから、「やらなくてはならない」、「仕方ないからやるか」では意味がないです。先日、近隣クラブの会長幹事の懇談会がありました。あるクラブから、次年度の会長幹事が若いので周りのクラブでサポートしてほしい、社会奉仕活動も一緒にやりたいといったお話しがありました。ぜひ参加型の社会奉仕活動、そして、「他クラブの参加型の社会奉仕活動への参加」を自発的に行っていただき

たいです。自分たちが必要だと思ったことを行動していただきたいです。嶋村ガバナーはとび込むことができる行動力のある方です。とはいえ、全く知らないクラブにとび込むことはなかなかハードルが高いです。まずは、近隣クラブ、親子クラブから、「他クラブの参加型の社会奉仕活動への参加」をしていくのはいかがでしょうか？

#### 4. 新しい仲間たちとつながる

嶋村：チーム嶋村は、昨年5月から会長ノミニー研修を始めました。会長のみなさんはいつもの年度に比べて顔見知りが多いです。会長のみなさんで仲良くなりながら、情報交換を進めていただきたいです。すぐに効果を得るのは難しいので、徐々に、かまいません。さて、新城さんは新しい仲間たちとつながることを進めているようです。それはどのようなものでしょうか？

新城：ポリオ根絶の募金を行動する公共イメージとして捉えたのがきっかけです。社会一般のみなさんはポリオのことをあまり知りません。街頭募金を行ったことのある方に伺うと、募金額は少なく、スルーされることもあるとのことでした。社会一般にどう受け入れられるかを考える必要があります。そこで、ポリオ根絶に理解をしていただだけそうな女性何人かにお声をかけました。ロータリークラブに入会するのは難しいけれど、世界に貢献したいという女性はけっこういます。先日、10名ほど集まっていたら、ポリオ根絶などの奉仕活動をするを目的とするロータリー衛星クラブを立ち上げることを提案しました。現在、RIは横に広がろうとしています。いろいろなつながりの仕組みをつくっています。集まっていた女性たちから、目的特定のロータリー衛星クラブを立ち上げてみることに賛同をいただきました。しかし、クラブの理事会で難色を示されてしまいました。RIがいろいろな場を設けようとしていること、また、社会にはお金がなくても奉仕活動をしたいニーズがあることを理解していないようです。その後、立上げのための説明を継続しています。現在、8合目というところです。

#### 5. まとめ

嶋村：当地区には、米山学友、ROTEX、若い経営者、そして、ローターアクト学友など特徴のあるロータリー衛星クラブが増えています。奉仕活動のためのロータリー衛星クラブもその一つとなり得るでしょう。奉仕の理念とは「他人を思いやり、そして他人のために尽くすこと」です。奉仕の理念を実践するための新しいつながりは、まずは会長の理解、リーダーシップからです。相澤さん、奉仕活動でつながる意義、ロータリアンの成長、クラブの活性化などでまとめていただけますでしょうか？

相澤：ロータリーの形は変わり始めています。社会奉仕活動も同じくです。ジェニファー・ジョーンズRI会長とともに地区社会奉仕部門は参加型の社会奉仕活動を目標として掲げています。世の中のためになることをしたいという動機はみんな持っているのではないのでしょうか？ 他クラブの社会奉仕活動に参加すれば、2倍、3倍の奉仕の実感を得られるのではないのでしょうか？ クラブを越えた仲間も増えていき、新たな親睦に、ロータリアンの成長に、喜びにつながるのではないのでしょうか？ また、この奉仕の実感をクラブに持ち帰り、例会で共有し、自クラブのより良い奉仕活動につなげていけばクラブの活性化につながるのではないのでしょうか？ すなわち、会員が奉仕活動を楽しむことで、さらに社会奉仕活

動に参加したくなり、そして、入会者が増えていく。奉仕活動は取組み次第でそういう可能性があるのではないのでしょうか？

嶋村：Take Action for Rotary Future は、新しい人たちと出会い、行動し、気付きを得ることを目指しています。こういうつながりはリーダーシップを磨く機会ともなります。新城さん、データから見て、次の世代を育てる必要性を強調しつつ、まとめていただけますでしょうか？

新城：本年度の RI 会長テーマは「IMAGINE ROTARY」です。2022 年 6 月に開催された国際大会では、世代交代が課題として取り上げられていました。世界は今、ものすごいスピードで変わっています。それに対して、ロータリーには若い人材が少ないです。浦添 RC でも、入会 1 年未満の若いロータリアンに期待していましたが、先日、退会してしまいました。理由は他に若い人が少ないこともあると推察しています。若い人にロータリーを知ってもらうことが重要です。データを見ると、退会者に占める入会 3 年未満のロータリアンの割合は 50%を超えます。ショックでした。若い人、そして、女性のロータリーへの定着も重要です。当地区はデータによると女性比率が最低の数字になっています。このことを問題視しないのが不思議です。ジェニファー・ジョーンズさんは初の女性 RI 会長です。しかし、彼女は「私が選ばれた時、強調されたのは、女性だから選ばれたのではなく、会長にふさわしい資格を持っていたから選ばれた」としています。「資格」のある女性は私たちの身近に多数います。ぜひロータリアンになってもらいたい！ 嶋村ガバナーの行動力に期待します。

嶋村：新城さん、相澤さん、ありがとうございました。参加し、行動することが、Rotary Future につながります。会員の奉仕への充足感は会員維持につながります。会長のみなさんが 1 年がんばれるように、チーム嶋村はそんなクラブ支援を展開します。

以上

## チーム嶋村の地区大会「ロータリーに夢を」

執筆：地区大会幹事 加藤幸男

嶋村文男ガバナーが、本年度地区大会に掲げた大会スローガンは、「ロータリーに夢を」です。この「ロータリーに夢を」のスローガンは、この大会の特色を考える時に、ガバナーとの対話の中で、ガバナーの思いとして自然と生まれてきました。

この「ロータリーに夢を」のスローガンは、

- ①なぜ9月の開催なのでしょう？
  - ②ロータリーファミリーと取り組んでいきたいことは？
  - ③各ロータリアンと共に「感動」「共感」「刺激」したいこと
- の3つのポイントに掛かっています。

### ①なぜ9月の開催なのでしょう？

多くのロータリアンが、「なぜ9月の開催なの？」とお考えになるかと思います。ガバナーには、「Start-up」（開始）型の地区大会とすることで「できるだけ早い時期に開催したい」という思いがあります。「RI 会長メッセージ」、「ガバナー信条ならびに地区運営方針」を当地区のロータリアンに伝えたいということからです。

### ②ロータリーファミリーと取り組んでいきたいことは？

世界で地域で良いことに取り組んでいる私たち「ロータリアン」は、その取組みをもっとも良く理解して欲しいターゲットとして「ロータリーファミリー」と掲げることと思います。そして、その取組みは、やがて「ロータリーファミリー」によって引き継がれていく「我々の未来」であると信じます。

### ③各ロータリアンと共に「感動」「共感」「刺激」したいこと

この地区大会を通じてロータリアンが得た「感動」によりそれぞれのクラブをより生き生きと元気に活動していくこと。ロータリーファミリーと世界で地域で取り組んでいる良いことに「共感」すること。ロータリアンとロータリーファミリーが「刺激」し合うこと。この3点が「ロータリーの未来」を形成していくことを期待しています。

そして、その期待こそが「ロータリーに夢を」与えてくれることを信じています。

地区大会の詳細なプログラムは、実行委員会に譲るとして、少しだけ簡単に内容に触れて結びます。

1日目：9月9日（金曜日） セルリアンタワー東急ホテル

会長幹事会の中の指導者育成セミナーでは、2021-22年度 RI 研修リーダーの四宮孝郎様に「DEI とロータリー」（仮題）のお話しをしていただき、多様性について一歩踏み込んだ取組みを考えます。

2日目：9月10日（土曜日） グランドプリンスホテル新高輪

新会員昼食会では第2690地区パストガバナーの松本祐二様に「ロータリー活動から幸せを！」というテーマについてのお話し。

本会議の基調講演では、東京2020パラリンピック、女子マラソン（視覚障害T12クラス）の金メダリストであり、福岡中央エンジョイロータリー衛星クラブ会員でもある道下美里様に「ともに輝くために私たちができること」についてのお話しをしていただきます。

また、第 2830 地区パストガバナー関場慶博様による「ポリオとロータリーと私」のお話しを受けて、講師、ロータリアン、ロータリーファミリー（ローターアクターより 1 名）によるパネルディスカッションがあります。

この地区大会のプログラムが、「感動」「共感」「刺激」を生み、みなさん自身が「ロータリーに夢を」与えていただければ幸いです。

## YouTube チャンネル、SNS で地区の情報、ロータリーの魅力を発信

執筆：地区広報委員長 大山剛

当年度広報委員会では YouTube チャンネルをはじめとして、Facebook、Twitter、Instagram で地区の情報、ロータリーの魅力を発信していきます。必見の内容ですのでぜひともチャンネル登録、シェアをよろしくお願い申し上げます。

もう既に何度か委員会および収録を行い、編集も済んでいますので、いつでもスタートできる状況にあります。広報委員会には嶋村文男ガバナー選りすぐりのプロフェッショナルが揃っており、毎回とても楽しく委員会が開催されています。

何より広報委員会の皆様は勇気があります。失敗を恐れることなく、どんな無茶ぶりにも応えてくれます。「やったことがない」、「失敗したらどうする」、「この発信はまずい」そんなネガティブ感情に負けることもなく、挑戦をみんなで楽しんでいます（そのように見えます）。当委員会は皆、内発的動機で動いてくれているので、こんなに力強いチームはありません。

私たちはいわゆる「頑張る」ことはしません。

なぜならロータリーの奉仕活動は、辛く大変なことを、涙を堪えて、歯を食いしばってするような類のものではないからです。だからと言って「頑張らない」わけではありません。与えられた使命をいつも楽しんでいます。「〇〇でなければならない」ということもありません。不自由に縛られているのは自身の心かも知れません。YouTube を見ていただければこの感覚を感じていただけるかと思います。

何が楽しいかは人それぞれ異なります。過度な親睦がお好きな方もいらっしゃいますが、私は奉仕そのものに楽しさを感じています。私の思う素敵でロータリアンたちの魅力を内外に発信していけるよう活動して参りますので、地区で広報してほしいことがございましたら、お気軽にお声掛けください。みなさん、ぜひご協力よろしくお願い申し上げます。

●YouTube チャンネルの登録、よろしくお願ひします！！

「国際ロータリー第 2580 地区公式 YouTube チャンネル」

